

申し入れ書

内閣総理大臣 岸田文雄様

沖縄・辺野古の米軍新基地建設計画を今すぐ中止、白紙撤回してください。

昨年4月21日、政府沖縄防衛局は辺野古・大浦湾の埋め立て工事について「設計変更承認申請書」を県に提出しました。従来の計画での埋め立ては無理だと判断したからです。しかし昨日11月25日、沖縄県玉城デニー知事は設計変更申請に対して「不承認」を正式に表明しました。それは、この設計変更計画があまりにも杜撰であるからです。軟弱地盤の上に作る滑走路は、完成しても震度1で崩れる、いや、完成前に崩れるだろうということさえ指摘されています。また多くの自然が破壊され貴重な生物もたくさん失われるでしょう。何よりも、辺野古の新基地建設をオール沖縄は反対しています。新しい基地を作るのは、「新たな戦争を生み出すこと」だと知っているからです。埋め立てに対する県内外からの多くの反対意見も無視はできません。

民意がNo!と言っています。これ以上政府は、地方自治を無視し、沖縄を踏みにじり続けることなりません。もし無視して工事を続けるなら、それは民主主義の破壊です。

政府は、辺野古・大浦湾の埋め立て工事を今すぐ中止してください。

政府は、国民・市民のいのちに寄り添い、辺野古の米軍新基地建設計画を今すぐ白紙撤回してください。

沖縄は、まるで日本とアメリカの植民地であるかのような扱いを今に至るまで受けています。沖縄県知事が辺野古・大浦湾の埋め立て設計変更申請に対して「不承認」を出したこのチャンスを、政府は逃してはなりません。今こそ民主主義を立て直す時ときです。植民地支配をもう終わりにしてください。私たちは、政府の沖縄差別を許しません。これ以上、政府が沖縄差別を積み重ねないよう、今こそ、辺野古新基地建設計画を白紙撤回にすべき時なのです。

2021年11月26日

辺野古への基地建設を許さない実行委員会